



第3回ワークショップの様子

(仮称)旧北王子支線跡地遊歩道整備ワークショップ

ニュースレターVol.3

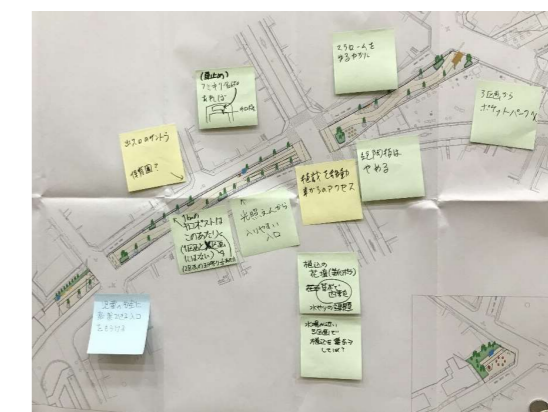
第3回（仮称）旧北王子支線跡地遊歩道整備ワークショップを開催しました！

2014年に廃線となったJR貨物北王子支線の跡地を活かして、「鉄道の面影を残した遊歩道」を整備します。皆様と一緒に、どのような遊歩道にしていくか話し合いを行い、この遊歩道に欲しいものや使い方、施設の配置やデザインについて考えるワークショップを開催しました。

11月14日に開催した、第3回ワークショップ（最終回）では、第2回ワークショップで作成した2つの整備案を1つにまとめた案を確認し、ワークショップ最終案を決定しました。また、遊歩道の名称を考えました。



話し合いの状況



最終案とりまとめ

第3回ワークショップにおけるアイデアの一部

【1】歩行空間の配置

- 3区画のスラローム（緩やかなカーブ）は4区画につながる向きに角度を調整する。
- 1、2（一部。旧須賀線の分岐再現）、4区画は線路を再現するため、レールを設置する。
- 滑りやすい写真陶板を止めて、隣接する横断歩道から遊歩道への出入りをしやすくする。
- 近隣保育園のお散歩コースになっているため、動線を考慮した出入口を検討する。

【2】施設の配置

- 車止めは月形柵をモチーフにし、踏切名称を記載する。
- 自転車の流入を抑制するような工夫を検討する。
- 2区画では、王子駅からの距離を表すキロポストを再現する。
- 1、2、4区画に設置の説明板について、周辺の鉄道関係跡地等へ巡っていけるような、回遊性の向上に寄与する説明が必要である。

【3】植栽の配置

- 植栽柵では、管理手間を考慮し常緑樹を設置し、花壇では、四季を感じる草花を設置する。
- 美化ボランティア等、地域住民による花壇の維持管理の導入を検討してほしい。

●ワークショップにおける遊歩道名称

提案いただいた案の中から、鉄道の名称や国鉄の貨物支線であった名残を表す、「北王子支線遊歩道」の名称が望ましいことを確認いたしました。

今後はこれまでのワークショップの成果をもとに、設計を進めてまいります。
たくさんの方にご参加いただきありがとうございました。



★ワークショップ最終案について、
今後は、関係機関との調整を踏まえ
詳細設計を実施します。



全3回の配布資料は
ホームページで公表中



【問い合わせ先】

北区 土木部土木政策課 事業計画係
山上、小池、杉尾
TEL:03-3908-9252





北王子支線遊歩道 ワークショップ整備案 (最終案)



0 10 20 30 40 50m



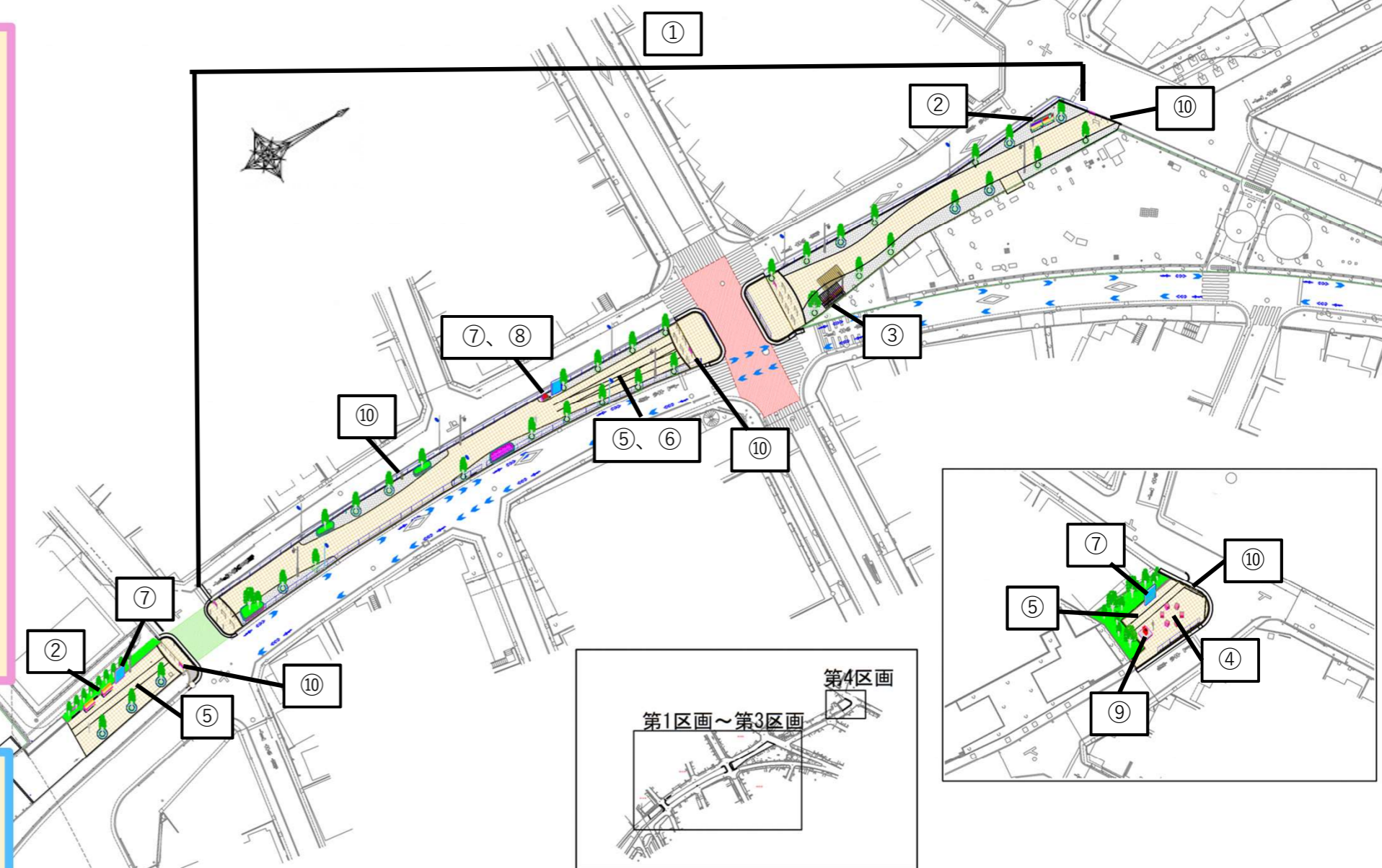


遊歩道のあり方

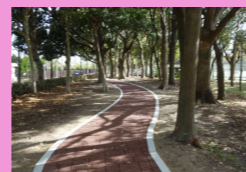
- 2・3区画をスラローム（緩やかなカーブ）にし、ゆっくり歩きたくなるように3.5mの歩行空間を設置する。
- 自転車の流入抑制のため、車止めおよび車道にナビマークを設置する。
- 人が集まる場所をコントロールするため、公園・児童遊園に隣接する1・3区画にベンチなどを配置する。
- 遊歩道を通して人をまちに誘導するように、説明板などで連続性を確保する。
- 既存の公園や児童遊園との相互利用やリニューアルを検討する。
- 低木の常緑樹をスポット植栽することで、近隣への落葉や管理手間の低減、ペットマナーの向上を図る。
- 美化ボランティアの活動場所とできるよう花壇を設置し、四季を感じる草花を植栽する。

鉄道の面影の表現

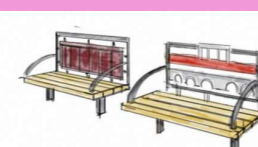
- 旧北王子支線にゆかりのある鉄道施設を配し、歴史や特徴がわかるような遊歩道とする（同型式の錘付転換機や入換標識を予定）
- 両端の1・4区画はレールを設置し線路を再現する。
2区画の一部にレールを設置し旧須賀線の分岐を再現する。
- 1・2・4区画に鉄道に関する説明板を設置する。
1区画：北王子支線の歴史 2区画：旧須賀線の歴史
4区画：回遊性の向上を図り、周辺鉄道施設に関する説明
- キロポストや月型柵を模した車止めなど、鉄道施設をモチーフにした施設を再現する。



①スラローム



② 機関車と貨物車両のベンチ



③日陰パーゴラ+ベンチ



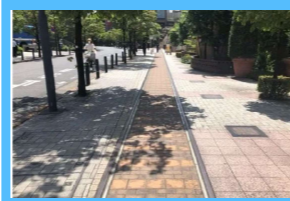
④ 貨物列車スツール



全体：常緑樹スポットで配置



⑤レールの再現



⑥ 須賀線の分岐を再現



⑦ 説明板



⑧ 錘（おもり）付転換機



⑨ 入換標識



⑩ キロポスト、月型柵モチーフ車止め



★引き続きJR貨物と協議し、レールや踏切信号機といった鉄道施設の提供など、鉄道の面影を残す検討を進めてまいります。

